

地域だより

みんなの



人と人の心をつなぐ踊りの輪

盆踊り講習会

◆問い合わせ 生涯学習課
公民館・スポーツ係
(☎ 44-5110)

7月13日、田川市民会館講堂で、盆踊り講習会が開催され、約30人が参加しました。

この盆踊り講習会は、各校区や地区単位で開催される盆踊り大会の継承と地域における指導者を育成しようとして平成11年度から開催しており、今年で15年目です。

この日は、「炭坑節」や「田川小唄」、「河内音頭」、そしてTAGAWAコールマイン・フェスティバルの総踊りで踊るようになると「画描きの作兵衛さん」を中心に、講師の藤間勸總さんや木本敦子さんから、楽しくも厳しい指導を受けました。受講生たちは熱心に見聞きしながら、みっちり2時間たくさん熱気の中、踊りの練習に励みました。

最後は、講師2人に感謝の拍手を送り、盆踊り講習会を締めくくりました。



▲講師の指導の下、会場には踊りの輪が広がりました



▲いざというときに備えるために、地図上で地域の特性を確認しました



安全で、安心して住める校区を目指します

鎮西校区活性化協議会

7月27日、鎮西小学校体育館で鎮西校区自主防災訓練が開かれ、約80人が参加しました。この事業は鎮西校区活性化協議会（児島孝司会長）と福岡県、田川市が共催し、自主防災活動の一環として行われているもので、今回は年4回開催されるうちの2回目となります。

地区別に分かれた参加者は、今回の課題である「連絡体制づくり」のテーマに沿って、ハザードマップを見ながら、避難場所までの経路における危険な場所を確認しました。今後は、災害時の情報連絡体制を整え、持続ある自主防災組織活動に向けて取り組んでいきます。

参加した平田珠美さん（古賀町）は「ハザードマップを見ながら地区の人たちと、一時避難場所や経路、要援護者などの確認をすることができました。図上訓練に参加して本当によかった」と話しました。



見て、さわって、楽しく学ぶ

金川校区活性化協議会

8月25日、金川校区活性化協議会（松嶋義秋会長）の青少年育成部会が、社会科見学として北九州市八幡東区の環境ミュージアムなどを訪れました。この事業は、児童の健全育成を図り自主性・連帯性を高めることを目的に昨年度から始められ、この日は、校区に住んでいる小中学生とその保護者52人が参加しました。

環境ミュージアムでは、自然素材を使ったリサイクルについてのクイズに答えるなどの体験型環境学習に挑戦し、楽しみながらもしっかりと学びました。青少年育成部会会長の中島貴秋さんは「今後も多くの子どもたちが参加できるように工夫し、いろいろなことを体験して夢中になれることの大切さを学んでもらいたい」と話しました。また、初めて参加した長野琳乃さん（金川小1年）は「とても楽しかったです。ものづくりがうまくできてよかったです。来年も参加したいです」と笑顔で話しました。



▲プラスチック包装紙を使って花や昆虫の模型を作成しました